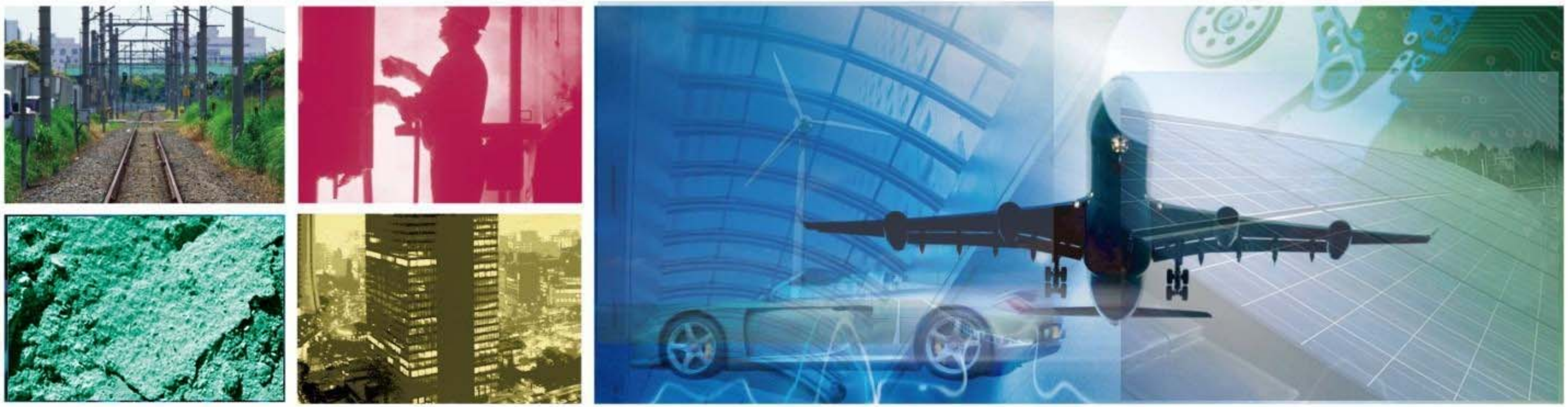


2012年9月期
第2四半期決算説明資料

2012. 5.16(東京)　2012. 5.18(大阪)

SECURE THE FUTURE

IMV CORPORATION

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 当資料について

○ 用語の説明

DSS・・・・・振動シミュレーションシステム（振動試験装置、複合環境試験装置）

MES・・・・・メジャリングシステム（振動計測装置、振動監視装置、地震監視装置）

TSS・・・・・テスト＆ソリューションサービス（テストラボ事業、ソリューション事業）

EGS・・・・・エンジニアリングサービス（振動試験装置・計測装置の修理・点検・保守）

MIG・・・・・環境信頼性評価システム（マイグレーションテスター、電気試験装置）

○ 免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 決算概要と主要アクション

決算概要

- 売上高・受注高：
  ・受託試験の増加や振動シミュレーションシステムの引き合いが伸びたこと等により、受注高は前期比11.4％増の2,979百万円となり、売上高は前期比27.3％増の3,156百万円となりました。
- 当期純利益：
  ・限界利益率の改善や、高利益率品目の売上増もあり、当中間期純利益は前期比76.5％増の369百万円となりました。

主要アクション

- 新製品の開発・販売：
  ・省エネ型振動シミュレーションシステム「エコシェーカー」シリーズのラインアップを順調に拡大し、売上も伸ばしました。
  ・次世代ポータブル振動計スマートバイブロを2012年3月リリースし、140台出荷いたしました。
- 海外展開の強化：
  ・東南アジア地域において、振動シミュレーションシステムの販売とメンテナンスサービス及び、振動受託試験の提供を目的としてタイのチョンブリに海外子会社であるIMV（THAILAND）CO.,LTDを設立いたしました。
  ・欧州地域における振動シミュレーションシステムの拡販と研究開発に関する連携機関との関係強化を目的とし、ロンドン郊外のレッチワースに海外駐在事務所IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTREを設置いたしました。

今後の展開

- 駐在員派遣などによる海外展開を一層強化すると共に、引き続き新規事業分野への展開を加速いたします。また、既存事業分野においても「エコシェーカー」の販売拡大を進めると同時に、MES新製品の投入等を進め、売上増加と収益性の向上を図ってまいります。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 決算概要（連結）

（単位：百万円）

	12/9中間期 実績	11/9中間期 実績	増減額	増減率	12/9中間期 予想	増減率
受注高	**2,979**	2,673	＋306	＋11.4%	－	－
売上高	**3,156**	2,478	＋677	＋27.3%	2,825	＋11.7%
営業利益（営業利益率）	**601（19.1%）**	277（11.2%）	＋324	＋116.9%	345（12.2%）	＋74.2%
経常利益（経常利益率）	**599（19.0%）**	266（10.7%）	＋332	＋124.9%	335（11.9%）	＋78.8%
中間期純利益（中間期純利益率）	**369（11.7%）**	133（5.4%）	＋236	＋176.5%	195（6.9%）	＋89.2%

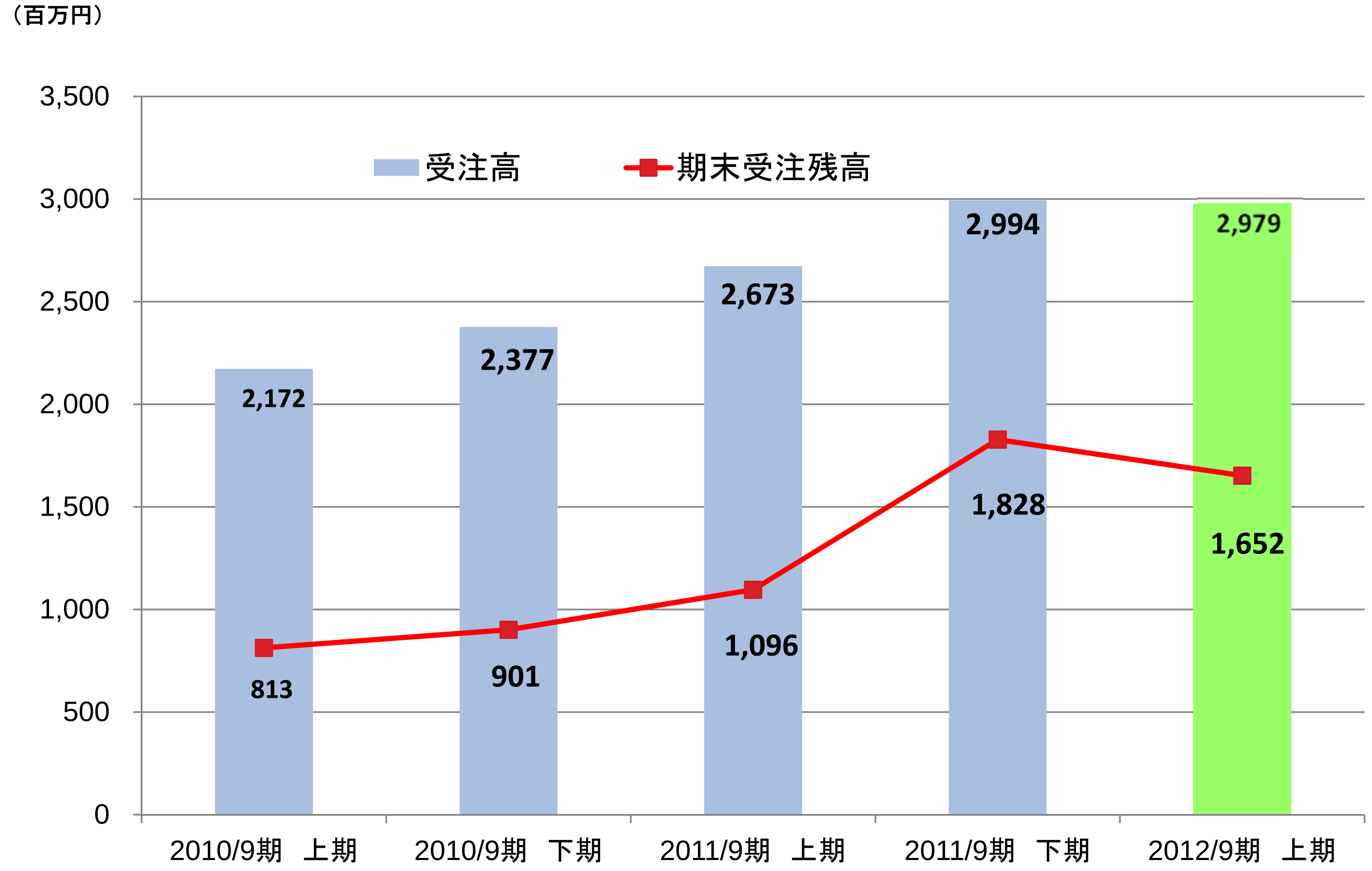
	12/9中間期 実績	11/9中間期 実績	増減額	増減率	12/9中間期 予想	進捗率
設備投資額	**125**	16	109	△5.9%	**163**	**76.7%**
減価償却費	**81**	101	△20	△18.5%	**92**	**88.0%**
研究開発費	**93**	75	17	+22.4%	**140**	**66.4%**
従業員数（人）※	**210**	196	14	7.1%	－	－

※△は損失、減少を表します。 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比677百万円増収の3,156百万円となりました。テストラボ過去最高売上（半期）等、利益率の高い品目の売上が大幅に伸びたことにより、営業利益は前期比324百万円増益の601百万円、経常利益は前期比332百万円増益の599百万円となりました。当期純利益は前期比236百万円増益の369百万円になりました。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 受注の状況

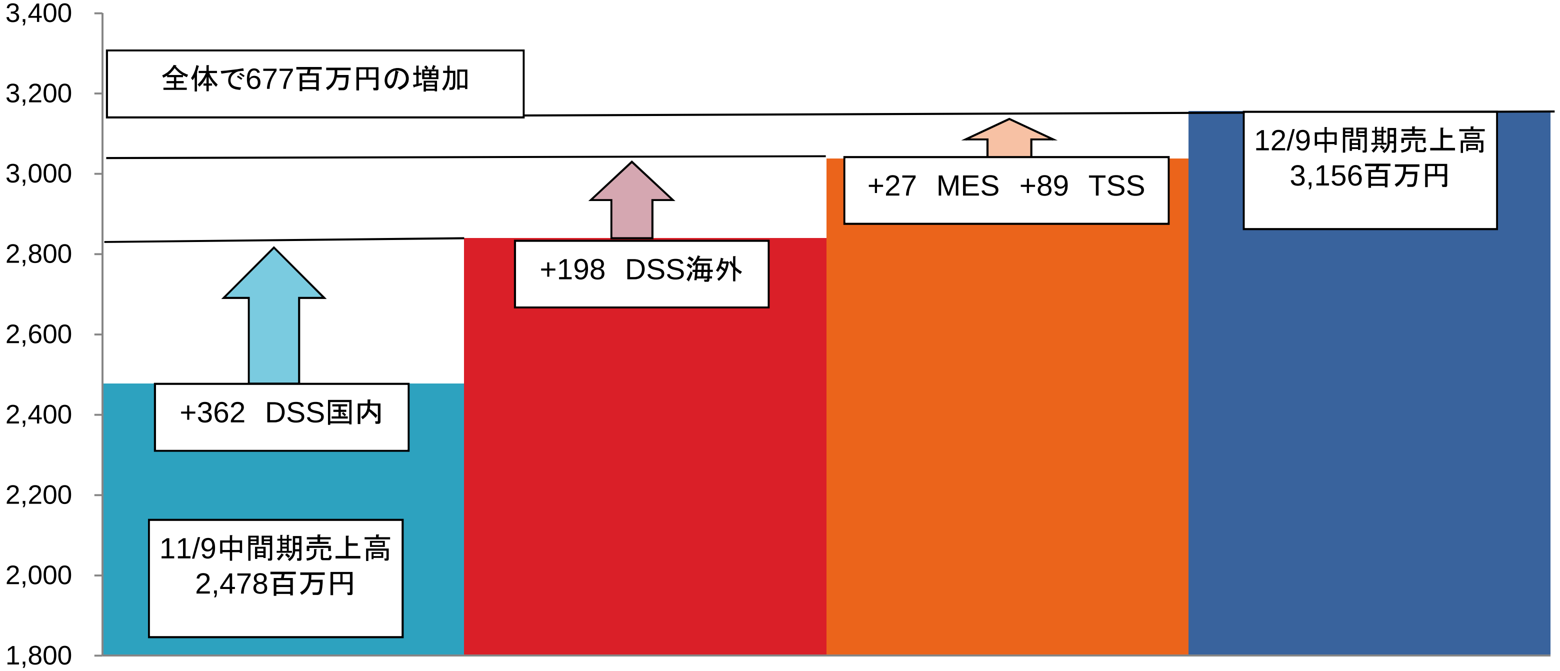


受注高につきましては、前期下期同様に順調に推移しております。ただし、受注残につきまして、当期はTSS等の比較的納期の短い受注が好調に売り上がったため、前期下期1,828百万円から176百万円減の1,652百万円となっております。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 売上高増加要因（連結）

（百万円）

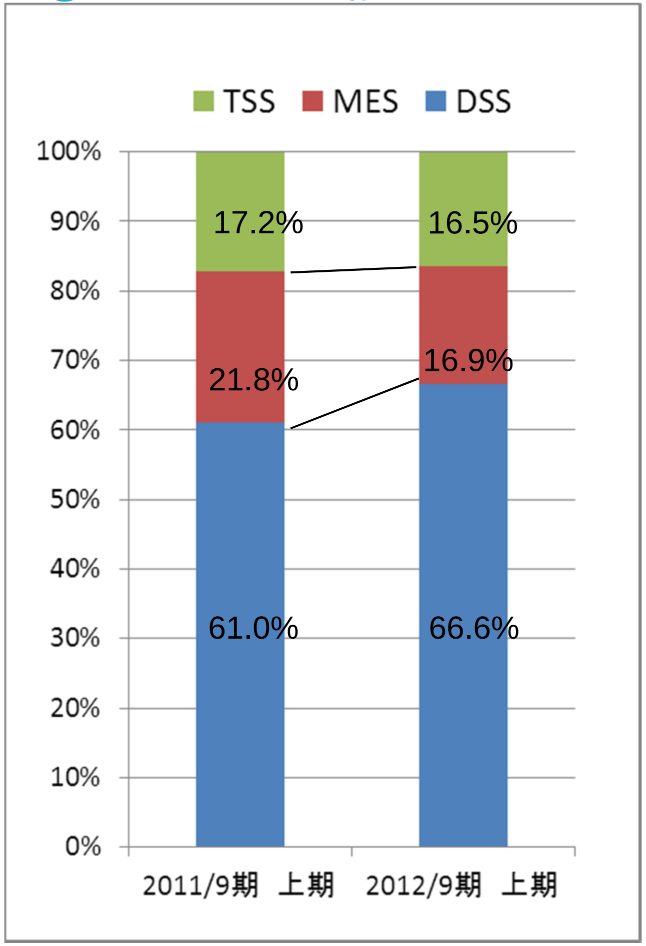


DSSでは主要取引先である自動車関連業界を中心に受注が堅調に推移しており、「エコシェーカー」も順調であり、前年同期と比較して560百万円（国内362百万円+海外198百万円）の増収となりました。更にMESも27百万円の増収、テストラボも89百万円の増収となりまして、全体としては677百万円の増収になりました。

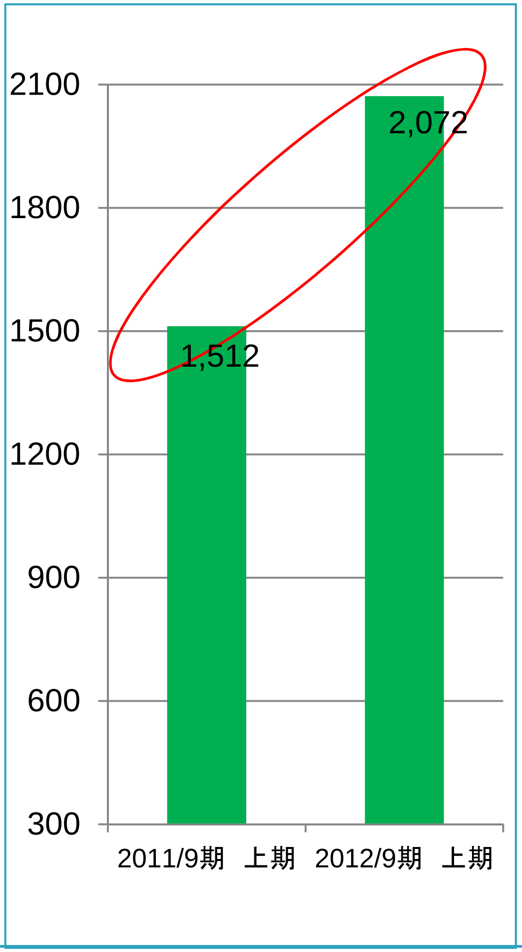
Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 品目別ポートフォリオ

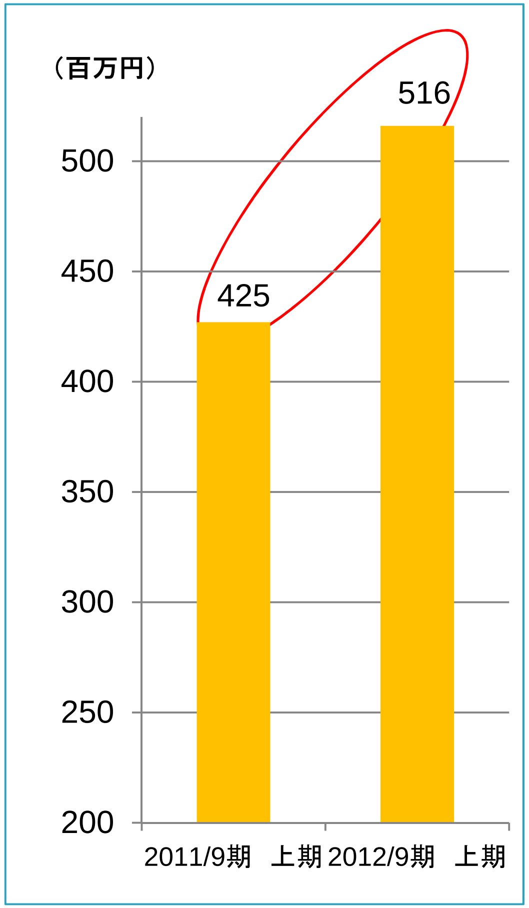
○ 品目別売上構成比



○振動シミュレーションシステム



○ テストラボ



品目別の売上構成比率は前年同期と比較して若干の変化はありましたが、DSS（振動シミュレーションシステム）の大幅な売上高増加および利益率の良いTSS（テストラボ事業) の売上が伸びた影響が、全社利益率の改善に大きく寄与いたしました。

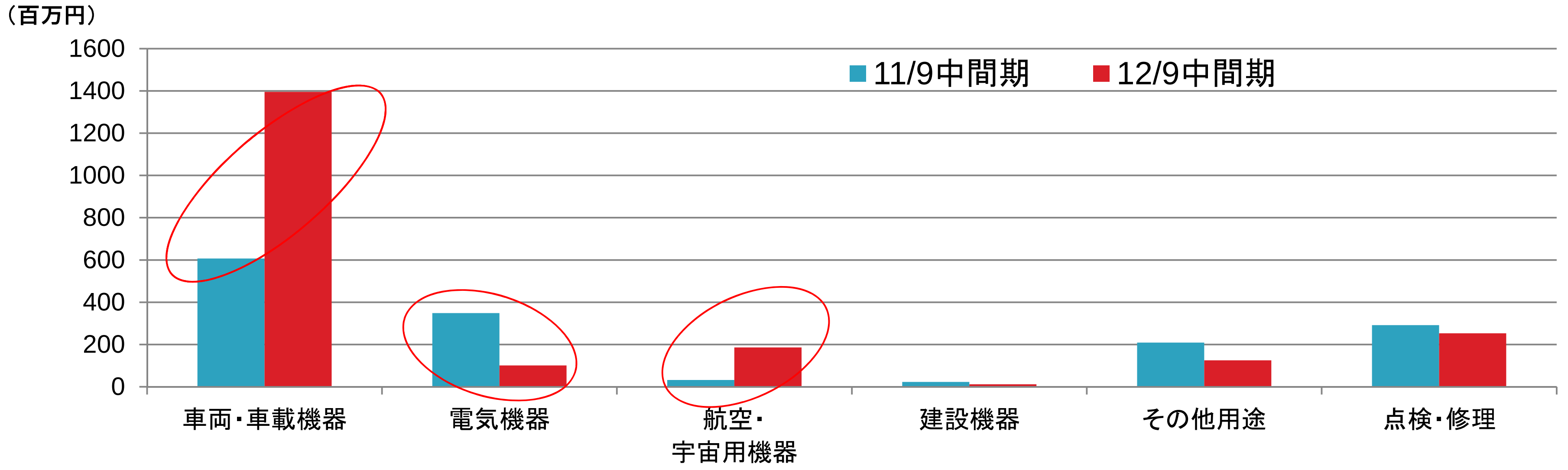
Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 振動シミュレーションシステム　～概況～

（単位：百万円）

	12/9中間期	11/9中間期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	1,395	607	+788	+129.8%
電気機器向け	101	349	△ 248	△71.1%
航空・宇宙用機器向け	186	32	+154	+481.3%
建設機械向け	12	23	△ 11	△47.8%
その他用途向け	125	209	△ 84	△40.2%
点検・修理	253	292	△ 39	△13.4%
合計	2,072	1512	+560	+37.0%

- 車両・車載機器向け売上は、業界が回復してきた事に加え、リチウムイオン電池等、EV対応用検査装置仕様も増加してきたことから、売上高は前年同期比788百万円（129.8%）の増収となりました。航空・宇宙用機器向けも同様に売上高は前年同期比154百万円（481.3%）の増収となりました。
- 一方、電気機器向けについては、業界低迷により、売上高は前年同期比△248百万円（△71.1%）減収となり、全体としては560百万円（37.0%）増収の2,072百万円となりました。



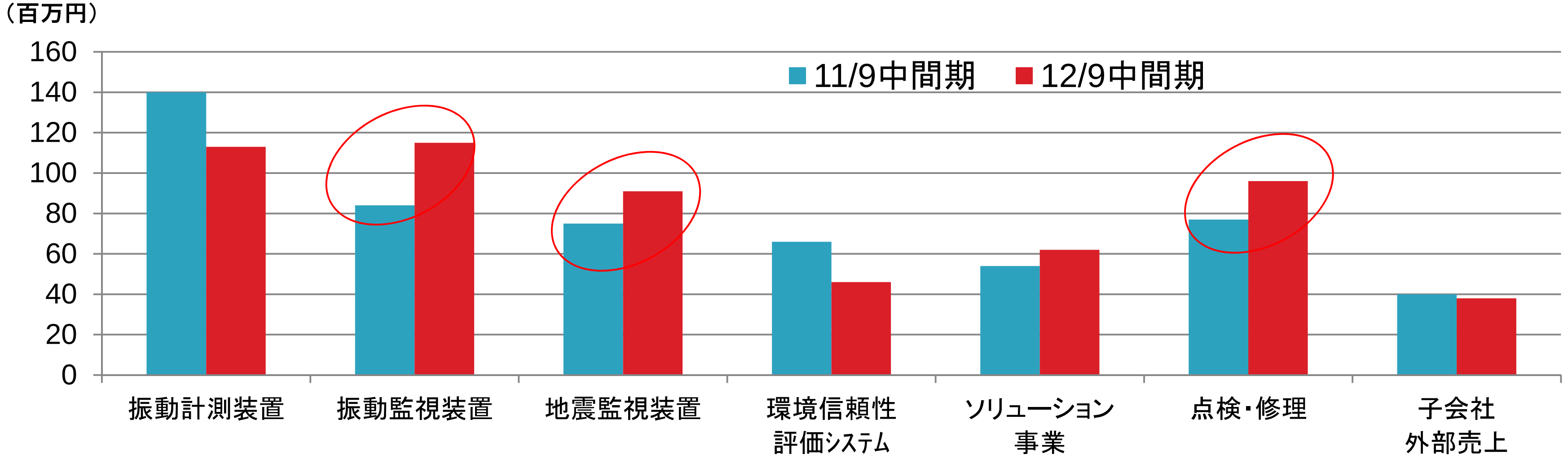
Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ メジャリングシステム　～概況～

（単位：百万円）

	12/9中間期	11/9中間期	増減額	増減率
振動計測装置	113	140	△ 27	△19.3%
振動監視装置	115	84	+31	+36.9%
地震監視装置	91	75	+16	+21.3%
環境信頼性評価システム	46	66	△ 20	△30.3%
ソリューション事業	62	54	+8	+14.8%
点検・修理	96	77	+19	+24.7%
子会社外部売上	38	40	△ 2	△5.0%
合計	566	539	+27	+5.0%

- 　メジャリングシステムの分野におきましては、発電所における振動監視装置の点検の増加や、地震計、振動監視装置の販売も順調であり、売上高は前年同期比27百万円（5.0%）の増収となりました。



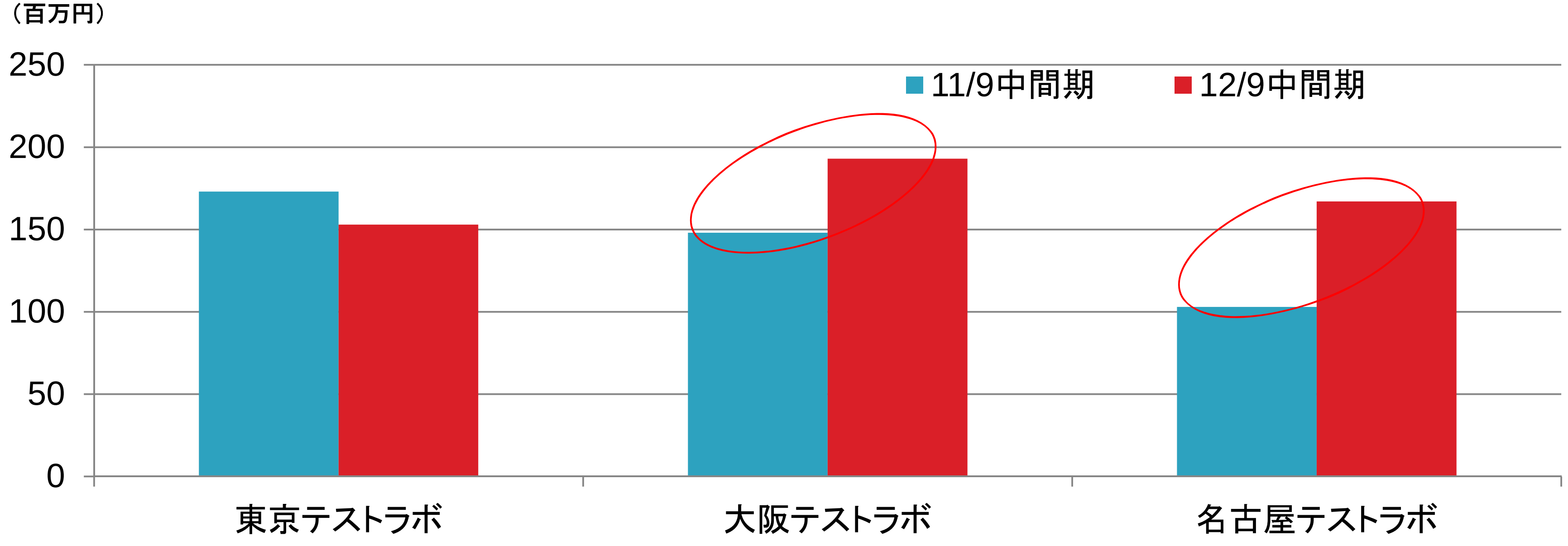
Copyright ©　IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ テスト＆ソリューションサービス　～概況～

（単位：百万円）

	12/9中間期	11/9中間期	増減額	増減率
東京テストラボ	153	173	△ 20	△11.6%
大阪テストラボ	193	148	+45	+30.4%
名古屋テストラボ	167	103	+64	+62.1%
子会社外部売上	2	1	+1	+100.0%
合計	516	427	+89	+20.8%

- 電気自動車関連や、鉄道車両機器の受託試験が好調で、全拠点総売上高は前年同期比89百万円（20.8%）増収の、516百万円となりました。
- 鉄道車両用試験装置を持つ大阪テストラボだけでなく、東京・名古屋でも電気自動車関連の試験が増加したこと等により、テストラボ全体で半期としては過去最高の売上高となりました。



Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 業績の見通し（連結）

（単位：百万円）

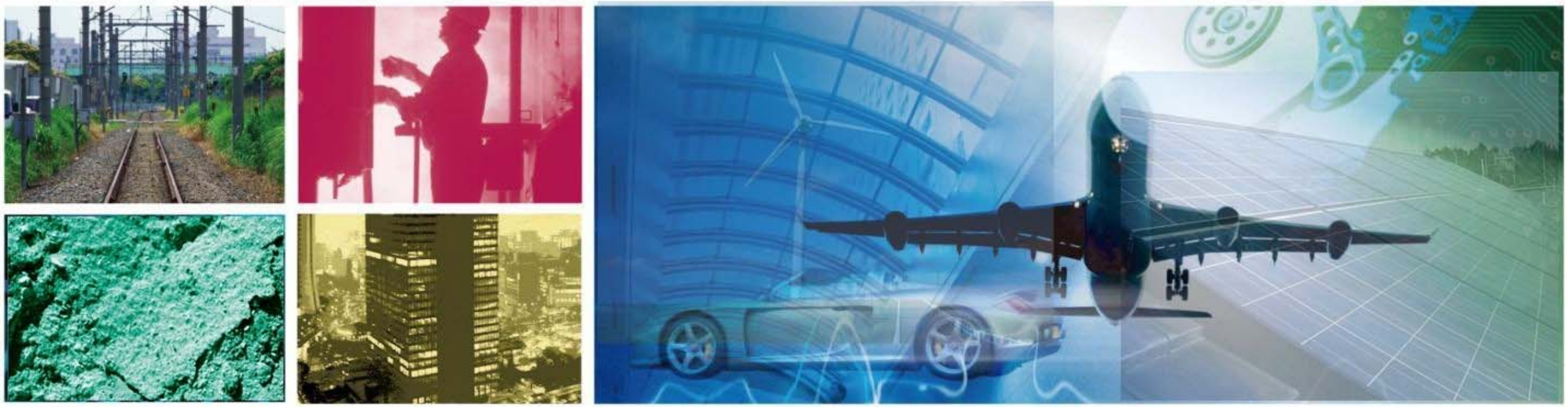
	12/9期 予想	12/9中間期 実績	達成率	（参考） 11/9期実績	概要
売上高	5,440	**3,156**	58.0%	4,690	
営業利益（営業利益率）	420（7.1%）	**601（19.1%）**	143.1%	374 (9.9%)	
経常利益（経常利益率）	405（6.5%）	**599（19.0%）**	147.9%	351 (9.6%)	
当期純利益（当期利益率）	230（3.4%）	**369（11.7%）**	160.4%	182 (8.4%)	
設備投資	388	125	32.2%	29	
減価償却費	251	81	32.3%	203	
研究開発費	237	93	39.2%	214	
従業員数（人）※	210	210	—	195	
1株当たり当期純利益（円）	14.07	22.63	—	11.19	—
1株当たり配当金（円）※	4.00	—	—	4.00	—

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※12/9期の配当金につきましては、2012年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。

全品目で順調に売上を伸ばすことができました。とりわけDSSの「エコシェーカー」が好調で、お客様の省エネ志向にタイムリーに対応できたものと考えております。通期の売上見込みは下期売上の一部を上期に前倒ししたことから、期初の計画どおり、5,440百万円としております。一方利益面では、研究開発費の下期へのシフトを考慮いたしまして、これも期初計画どおり営業利益で420百万円、経常利益は405百万円、当期純利益は230百万円と予想しております。なお、配当につきましては4円を予定しております。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved



2012/9月期　下期の取り組み

IMV CORPORATION

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ グローバル化

IMV(THAILAND)

3月28日稼働開始

24kN 省エネ・水平垂直複合型

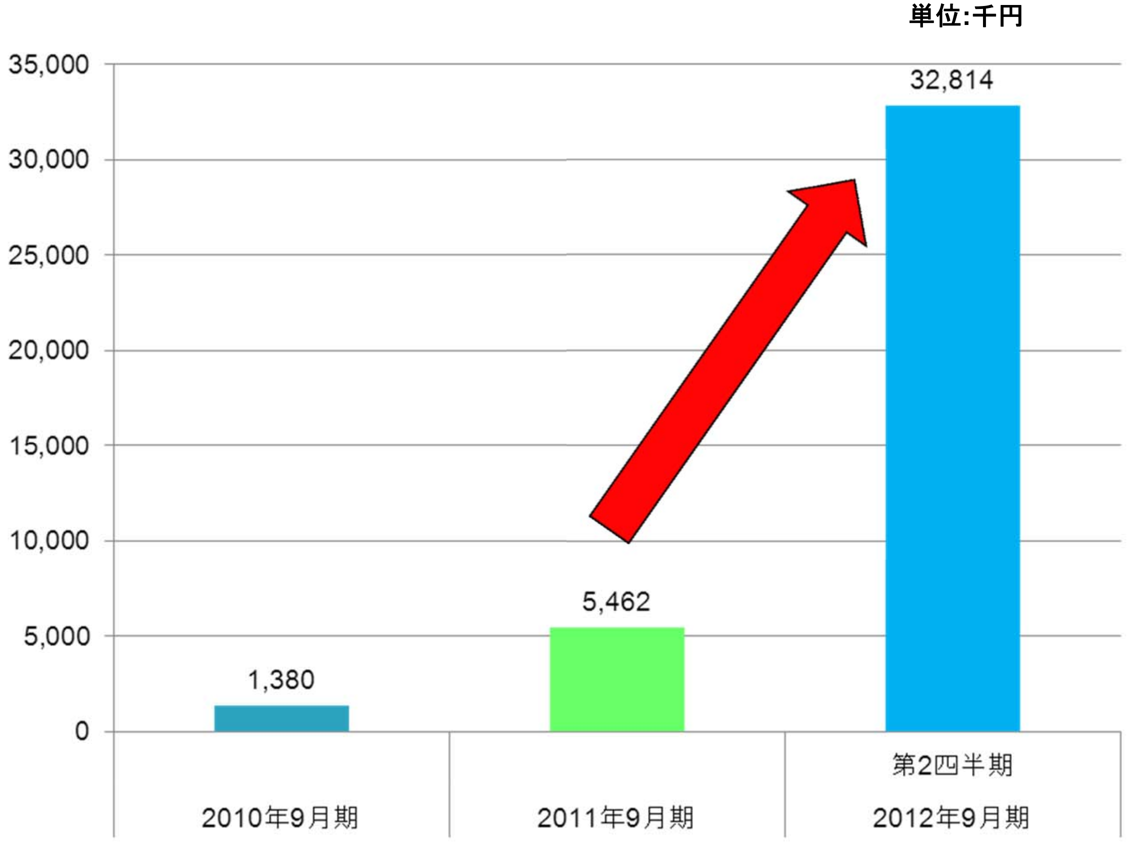
49kN 省エネ型

8kN 垂直複合型

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ グローバル化

EU市場売上推移



立ち上がりとしては鈍いが、初年度1.2億円の売上達成を目指す。

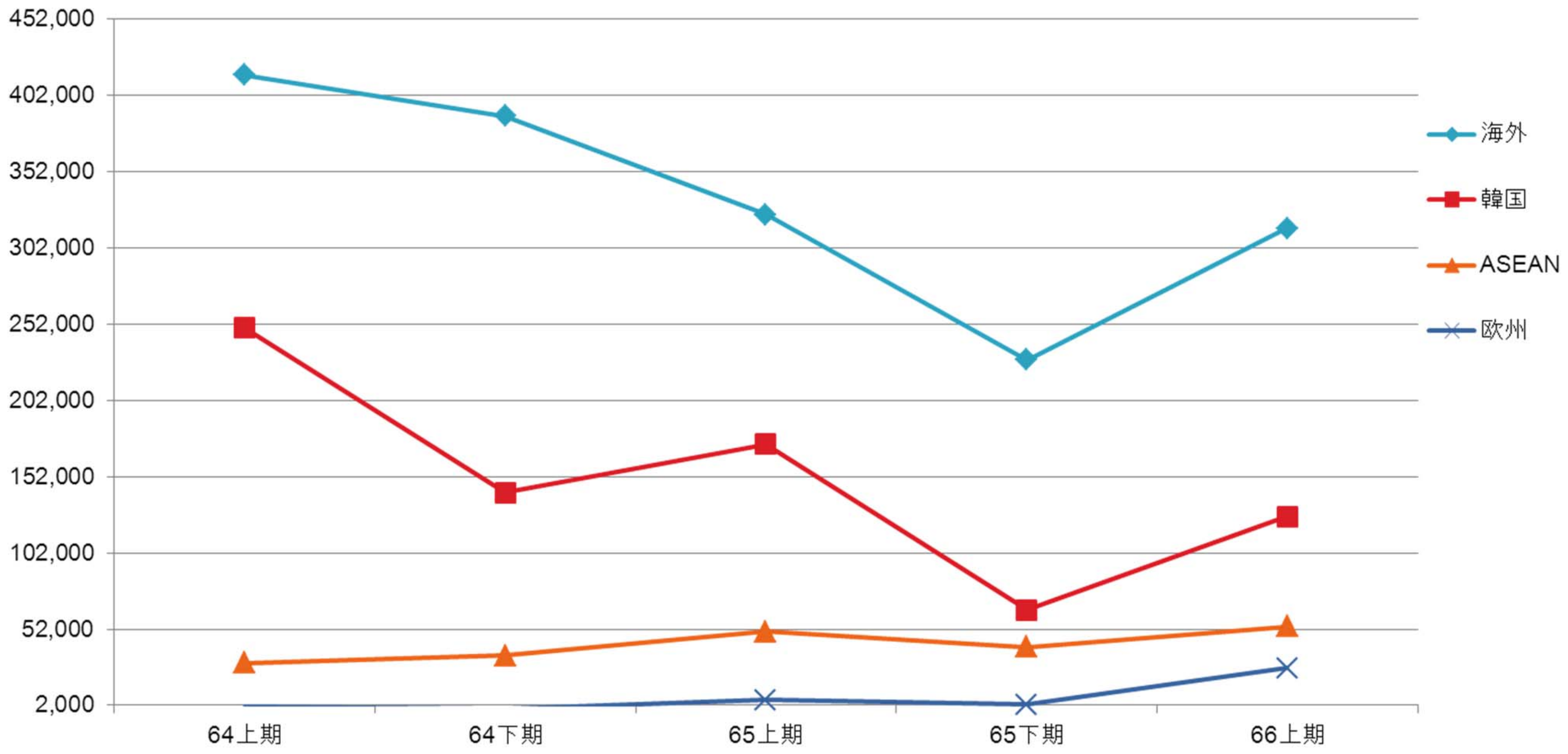
アクション
①現地販売人員の強化
②E/L の障害排除
③知名度向上のプロモーション
(展示会、Eco)

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ グローバル化

海外受注推移

単位:千円



当社の受注は現状では韓国市場がリードする状況にあり、このトレンドはやや減少傾向となっている。
ASEAN 、欧州での実績を伸ばすべく活動していく。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 新技術開発(国内TL用新規設備)

東京テストラボ

☆航空/宇宙 電気設備等の大型の試験対象品の振動試験の需要増加に対応
国内最大動電型振動試験装置
7月下旬導入予定

**☆電気通信機器、建築土木等の耐震試験の需要増加に対応
動電型とサーボモーターのハイブリッドによりロングストロークを実現
(水平 600mm p-p,垂直 200mm p-p)**
8月上旬導入予定

200 kN 大型試験装置

名古屋テストラボ

☆HV・EV化に伴うモーター・インバーターバッテリー等の水平複合試験の需要増加に対応
6月上旬導入予定

35 kN 水平・垂直 複合試験装置

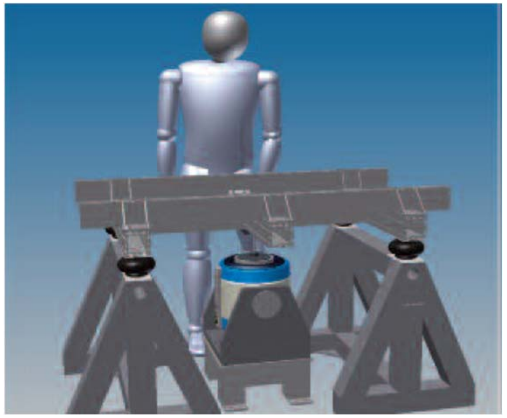
Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 新技術開発

S&R試験 (Squeak And Rattle **試験)**

ドイツ Ziegler社 とのコラボレーションで
自動車のきしみ音を測定するシステムを実現。
EV車の普及による試験需要増を見込み
国内での販売を目指す。

ヨーロッパの高級車のクレームの60%はSqueak & Rattle(きしみ音とガタ音)に関するものである。



Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

European Market Trends

- Automotive manufacturers and suppliers are looking to Japan
  - Lexus/Toyota is clearly identified as the leader in ride quality and reliability
- Interest is building quickly in:
  - Simultaneous multi-axis test systems
  - Squeak and Rattle test systems
- Leading European manufacturer of premium quality cars reports that 60% of warranty claims are due to squeaks and rattles!!
  - Average warranty cost = €256/car
  - Loss of Customer confidence
- IMV has teamed up with Ziegler to introduce the Sarex Family, specifically aimed for squeak & rattle testing

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 新技術開発(メジャリングシステム)

SECURE THE FUTURE IMV

次世代ポータブル振動計 スマートバイブロ

2012年3月 リリース
 140台出荷
初年度 400 台販売予定
次年度以降 1500台/年を目指す。

特長
 ・低価格
 ・加速度・速度・変位 OA値同時測定可能

次世代無線型振動計 カードバイブロAir2

Wi-Fi　対応

Andoloid 対応

発売予定：2012年9月

国内及びOEM販売で 1000台/年 程度の販売を見込む

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 新技術開発(Li-ion 電池関連)

Li-ion 電池分野

部分放電試験機

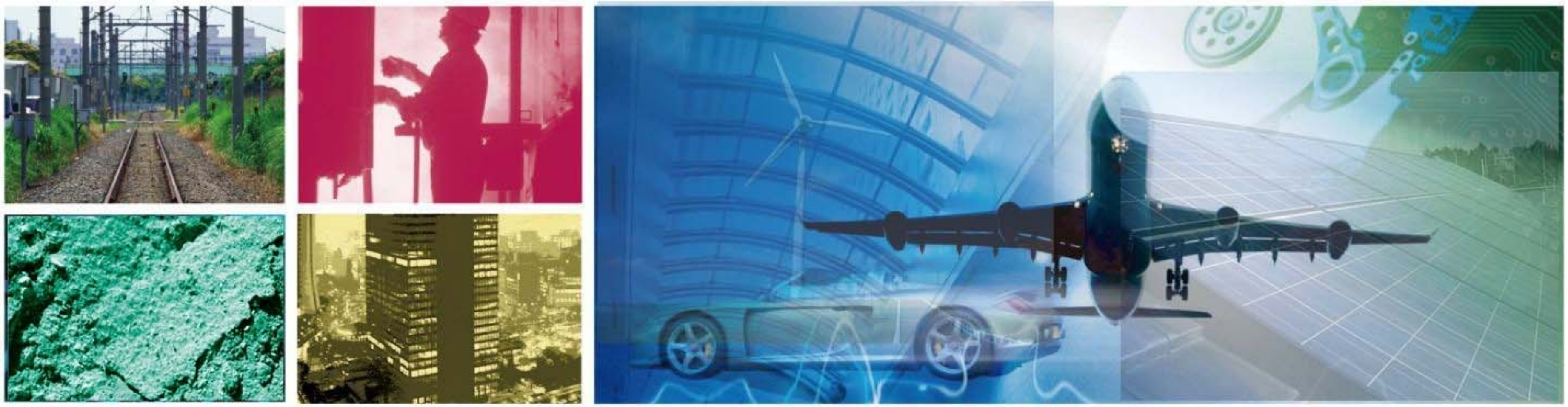
☆部分放電検出精度を向上させた
　改良型部分放電試験器が完成

☆Li-ion電池の劣化兆候検知
・山形大学と共同研究実施中。
　2011年11月に開催される 電池討論会にて
　成果発表実施予定。

太陽光発電分野

☆高精度部分放電試験器を応用して発電モジュールの経年劣化の診断を実施する
　装置の開発を実施中。6月末評価装置試作品完成予定

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved



中期的な戦略について

IMV CORPORATION

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

中期的な戦略指針

グローバル企業として世界で戦うためには、

日本ブランドとしての良さを追求する必要がある

"Integrity" & "Maximization of Value"

「誠実さ」と「価値の最大化」

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

ありがとうございました

代表取締役会長	小嶋　成夫
代表取締役社長	岡本　二朗
執行役員 経営企画本部長	白星　政和

■ お問合せ先

IR窓口：経営企画本部企画部企画課・IR担当　渡邉

TEL：06-6478-2565　FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp　http://www.imv.co.jp

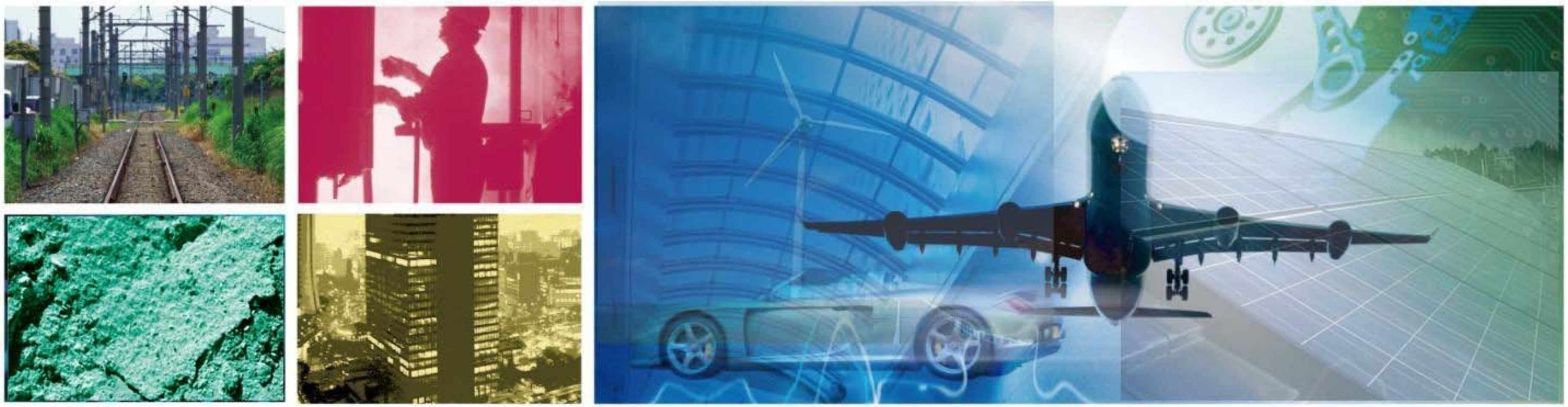
○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

Copyright ©　IMV CORPORATION 2012 All right reserved



（ご参考資料）

IMV CORPORATION

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 貸借対照表の概要（連結）

（単位：百万円）

	12/9中間期末	11/9期末	増減額		12/9中間期末	11/9期末	増減額
流動資産	**5,106**	3,735	+1,371	流動負債	**4,395**	3,043	+1,352
現金預金	**1,317**	858	+458	仕入債務	**1,403**	869	+533
売上債権	**2,452**	1,670	+781	短期有利子負債	**2,388**	1,622	+766
棚卸資産	**1,164**	1039	+125	その他流動負債	**605**	551	+54
その他流動資産	**172**	166	+6	固定負債	**850**	1,071	△220
固定資産	**2,860**	2,781	+79	長期有利子負債	**543**	767	△224
有形固定資産	**2,717**	2,641	+75	その他固定負債	**308**	304	+4
無形固定資産	**27**	31	△4	負債合計	**5,246**	4,114	+1,131
投資その他資産	**117**	108	+9	純資産合計	**2,720**	2,401	+318
資産合計	**7,967**	6,516	1,451	負債･純資産合計	**7,967**	6,516	+1,451

資産の部　：期末売上の増加に伴い売上債権や棚卸資産が増加した影響により、流動資産が1,371百万円増加いたしました。

：また固定資産につきましては、79百万円増加いたしました。その主な要因はIMV（THAILAND）CO.,LTDの設備投資の増加75百万円であります。

負債の部　：流動負債につきましては、期末生産の増加に伴い仕入債務の増加が533百万円ありました。また、運転資金の増加に伴い借入金の増加が766百万円ありました。

:固定負債につきましては、220百万円減少いたしました。

純資産の部　：純資産は318百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加304百万円であります。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ キャッシュフロー計算書の概要(連結)

(単位:百万円)

		12/9中間期	11/9中間期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	**105**	**14**	+91
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	**△134**	**65**	△199
①+②	フリーキャッシュフロー	**△28**	**80**	△108
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	474	△312	+786
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	6	0	+6
⑤	現金及び現金同等物の増減額	452	△231	+683
⑥	現金及び現金同等物期首残高	**670**	**1,100**	△430
⑦	現金及び現金同等物四半期期末残高	**1,123**	**868**	+255

営業CF　:税金等調整前当期純利益596百万円、減価償却費81百万円、仕入債務515百万円の増加要因が、売上債権の増加781百万円、たな卸資産の増加125百万円等の減少要因を上回ったことにより、105百万円の増加となりました。

投資CF　:有形固定資産の取得126百万円増加したこと等により、134百万円の減少となりました。

財務CF　:短期借入金の純増加額790百万円、長期借入金の返済による支出249百万円等の減少要因により、474百万円の増加となりました。

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 会社概要(2011年9月期連結)

社　　　名	：	IMV株式会社 （英文社名：IMV CORPORATION）
証券コード	：	7760 （大証JASDAQ（スタンダード）／精密機器）
設　　　立	：	1957年4月17日
事業概要	：	振動シミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売 及びテスト＆ソリューションサービスの提供
代　表　者	：	代表取締役会長　小嶋 成夫 代表取締役社長　岡本 二朗
売　上　高	：	4,690百万円
経常利益	：	351百万円
資　本　金	：	464百万円
従業員数	：	195人 （32名の期中平均臨時従業員含む）
本社所在地	：	大阪市西淀川区竹島2-6-10 （本社/開発センター/生産本部/東京営業所/大阪営業所/名古屋営業所/ 東京テストラボ/大阪テストラボ/名古屋テストラボ）

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 会社沿革

１９５７年　４月	株式会社国際機械振動研究所を設立
１９７４年１０月	会社更生法を大阪地裁へ申請 小嶋成夫（現会長）が更生管財人として自力再建を開始
１９８５年　７月	残3回の弁済計画を繰り上げ、会社更生手続きを終結
１９９４年　９月	日東精機㈱を100%子会社化
１９９８年　４月	国内初のテストラボ専用施設を完成（東京工場敷地内）
２００５年　５月	本社･大阪工場を大阪市西淀川区に移転･統合
２００５年　６月	大阪テストラボ開設
２００５年　７月	ジャスダックに上場
２００７年　２月	大阪にショールーム開設
２００７年　４月	会社設立50周年
２００７年　９月	名古屋テストラボ開設
２００９年　３月	大阪テストラボに鉄道車両機器向け新試験棟開設
２００９年１１月	GEエナジー･ジャパン㈱と業務提携
２００９年１２月	㈱データ･テクノを100%子会社化
２０１０年　２月	ブリュエル･ケアー社（Ｂ＆Ｋ社）と業務提携
２０１０年１２月	東京支店を浜松町へ移転
２０１１年１０月	英国にIMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設
２０１１年１１月	タイにIMV(THAILAND) CO.,LTD.(子会社) を開設

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

SECURE THE FUTURE

～IMVが見守る未来～

FIRST Choice for our Partners

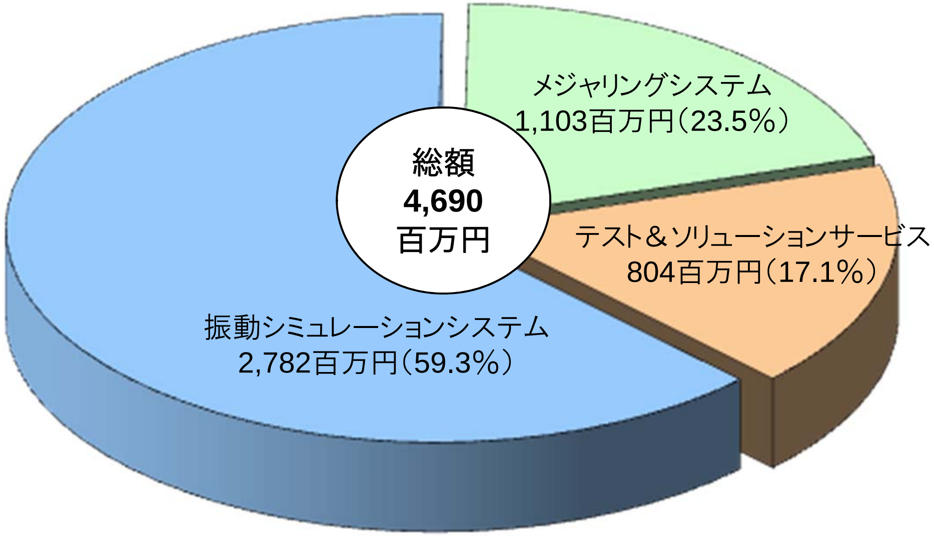
Future	安全を見つめて未来の社会に貢献します
Integrity	誠実で開かれたパートナーシップを大切にします
Reliability	製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます
Strength	振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します
Technology	顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 国内トップシェアを実現する3つの事業

振動を**再現**する
振動シミュレーションシステム

振動を**計測**する
メジャリングシステム



（2011年9月期　連結売上高）

振動問題を**解決**する
テスト＆ソリューションサービス

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved

■ 振動シミュレーションシステムの用途

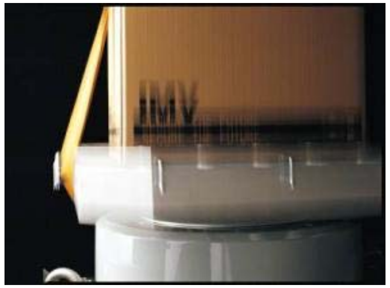
～あらゆるシーンで使用されています～

自動車

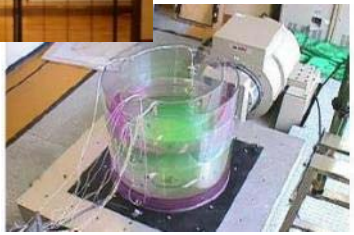
航空宇宙

鉄道

輸送



構築物



人体

電気機器

建設機器

Copyright © IMV CORPORATION 2012 All right reserved